

長野県子どもと子育て家庭の 生活実態調査結果報告書

平成 30 年 3 月

長野県 県民文化部

目 次

1. 調査概要及び結果の読み方	1
2. 回答者の属性	4
(1) 属性・居住地域	4
(2) 世帯の状況	5
3. 保護者調査結果	12
(1) 保護者の就労状況	12
(2) 家計の状況	19
(3) 世帯の所有物や子どもの体験・活動状況等	23
(4) 保護者の心身の状況やこれまでの体験	43
(5) 子育て・教育に関すること	48
(6) 公的支援施策に関すること	53
4. 子ども調査結果	76
(1) 属性・居住地域	76
(2) 将来のこと	79
(3) 子どもの生活・友人関係	82
(4) 生活習慣	100
(5) 子どもの心身の状態	111
(6) 学校・勉強	117
(7) 悩みや相談	128
(8) サービスや支援策の関心	135
(9) 学校や仕事などに関すること（16歳・17歳のみ）	139
(10) その他	142
付属資料（調査票）	145

設 問 目 次

保護者調査詳細

問 1	居住地はどこですか。	4
問 2	お子さんとあなた（回答者）との関係は、以下のどれになりますか。	5
問 3	あなたの年齢を教えてください。	5
問 4	現在のあなたの婚姻状況を教えてください。	5
問 5	お子さんと同居しているご家族の人数を教えてください（あなたとお子さんも含む）。	6
問 6	お子さんと同居しているご家族の中に、高齢であったり障がいがあったりするなど、介護が必要な方はいますか。	6
問 7	お子さんが病気の時や、ご自身の用事の時などに頼れる親族や友人などがいますか。	7
問 8	お子さんのご両親の国籍を、それぞれ教えてください。	7
問 9	現在お住まいの住居の形態は、次のどれが最もよくあてはまりますか。	9
問 10	前年（2016 年 1～12 月）の世帯全体の可処分所得（手取り）総額は、合計でおよそいくらですか。 ...	9
問 11	お子さんのお母さんの現在のご職業は、次のどれに最も近いですか。	12
問 12	お母さんが職業をお持ちの方にお伺いします。お子さんのお母さんは、1 週間に平均何時間、お仕事をされていますか。	12
問 13	お母さんが職業をお持ちの方にお伺いします。昨年 1 年間（2016 年 1 月～12 月）を合計した、お子さんのお母さんのお仕事からの収入（税込）は、およそいくらですか。	13
問 14	お母さんが職業をお持ちの方にお伺いします。お母さんは、平日の日中以外の勤務がありますか。	14
問 15	お子さんのお母さんは、過去 3 年間に仕事を探してもみつからなかった期間（失業期間）がありますか。	15
問 16	お子さんのお父さんの現在のご職業は、次のどれに最も近いですか。	16
問 17	お父さんが職業をお持ちの方にお伺いします。お子さんのお父さんは、1 週間に平均何時間、お仕事をされていますか。	16
問 18	お父さんが職業をお持ちの方にお伺いします。昨年 1 年間（2016 年 1 月～12 月）を合計した、お子さんのお父さんのお仕事からの収入（税込）は、およそいくらですか。	17
問 19	お父さんは、平日の日中以外の勤務がありますか。	17
問 20	お子さんのお父さんは、過去 3 年間に仕事を探してもみつからなかった期間（失業期間）がありますか。	18
問 21	あなたの家庭では、過去 1 年間に、お金が足りなくて、家族が必要とするものを買えないことがありましたか。また、経済的な理由で、サービス・料金について、支払えないことがありましたか。	19
問 22	経済的理由のためにあなたの世帯にないものはありますか。	23
問 23	あなたのご家庭では、お子さんに次のことをしていますか。または、これまでにしたことがありますか。	24
問 24	あなたのご家庭では、お子さんに次のことをしていますか。	27
問 25	お子さんの教育費のうち負担が重いものは何ですか。	33
問 26	あなたのご家庭では、お子さんと次のようなことをすることがありますか。	35
問 27	過去 1 年間に、お子さんを医療機関で受診させた方がよいと思ったが、実際には受診させなかったことがありましたか。	39
問 27-1	「1 あった」と回答した方にお伺いします。その理由は、何ですか。	39
問 28	お子さんの予防接種と乳幼児健診の受診状況について、最も近いものに○をつけてください。	40

問 29 定期予防接種（無料）について、「2 受けなかった」と回答した方にお伺いします。定期予防接種を受けないことがあったのはなぜですか。	41
問 30 インフルエンザの任意予防接種（有料）について、「2 受けなかった」と回答した方にお伺いします。任意予防接種を受けないことがあったのはなぜですか。	42
問 31 乳幼児健診（無料）について、「2 受けなかった」と回答した方にお伺いします。乳幼児健診を受けないことがあったのはなぜですか。（小学1年生のみ）	42
問 32 あなたの健康状態についてお伺いします。	43
問 33 お子さんのお母さん、お父さんの最終学歴は次のどちらにあたりますか。	43
問 34 あなたが15歳の頃のご家庭の様子に最も近いものに○をつけてください。	44
問 35 あなたはお子さんを持ってから、以下のような経験をしたことがありますか。	46
問 36 あなたの気持ちをお聞かせください。	47
問 37 お子さんに、どの段階までの教育を受けさせたいと考えていますか。	48
問 37-1 お子さんに理想と現実的な教育段階に違いがある方にお伺いします。あなたが、そのように考えた理由を選んでください。	49
問 38 お子さんが病気の時や、ご自身の用事の時などに頼れる親族や友人などがいますか。	50
問 39 子育てをする上で、あなたが大変だと感じていること、悩んでいることを選んでください。	51
問 40 あなたは、子育てに困ったり、悩んだとき、誰に相談しますか。	52
問 41 あなたは、子どもに関する施策等の情報を、今後、どのような方法で受け取りたいですか。	53
問 42 以下の支援制度等を、これまでに利用したことがありますか。	54
問 42-1 現在、これらの支援制度等を利用することに興味がありますか。	55
問 43 これまでに困ったときに以下の公的機関に相談したことがありますか。	56
問 44 封筒の宛名のお子さんについて、以下の支援制度等をこれまでに利用したことがありますか。利用したことがない場合は、その理由に最も近いものに○をつけてください。	58
問 45 現在、これらの支援制度等を利用することに興味がありますか。	65
問 46 今後、充実を希望する子育て支援サービスは何ですか。	66
問 47 長野県では、昨年7月に「子どもを性被害から守るための条例」を制定しましたが、ご存知ですか。	68
問 48 長野県では、性被害を防ぐために、性教育を充実することが必要と考えていますが、家庭における性教育の状況について、お答えください。	69
問 49 お子さんは、「就学援助費」・「高校生等奨学給付金」を利用していますか。	69
問 50 「1 利用している」と回答した方にお伺いします。現在の就学援助費・高校生等奨学給付金で必要な費用を賄うことができますか。	71
問 51 「2 利用していない」と回答した方にお伺いします。受け取っていない理由は、何ですか。	72
問 52 あなたの世帯で、次のような公的年金、社会保障給付金の1回あたりの支給額はいくらですか。	73
問 53 あなたが今、子育てで困っていることや悩みごと、子育てに関する意見がありましたら、ご自由にお書きください。	73

子ども調査詳細

問 54	あなたの住んでいる市町村を教えてください。(小学1年以外)	76
問 55	あなたの性別を教えてください。	76
問 56	あなたの身長・体重を教えてください。(16歳・17歳のみ)	76
問 57	あなたは、現在学校に在籍していますか。(16歳・17歳のみ)	78
問 58	あなたは、将来の夢(小学5年・中学2年)や将来になりたい職業(16歳・17歳)がありますか。...	79
問 59	将来の夢(小学5年・中学2年)や将来になりたい職業(16歳・17歳)が「2 ない」と答えた人にお聞きします。その理由は何ですか。	79
問 60	あなたは、今後、進学を希望する学校がありますか。(16歳・17歳のみ)	80
問 61	今後の進学を希望する人にお聞きします。希望する学校に進学する予定はありますか。(16歳・17歳のみ)	81
問 62	あなたは、平日(学校に行く日)の放課後(夕方6時くらいまで)は、どこで過ごすことが一番多いですか。	82
問 63	あなたは、以下の活動を、ふだんどれくらいしますか。	83
問 64	あなたは、平日(学校に行く日)の放課後(夕方6時くらいまで)は、だれと一緒に過ごすことが一番多いですか。	90
問 65	あなたが平日の放課後や自由時間を過ごす場所に、大人はいますか。	91
問 66	あなたは、学校や職場・地域のクラブやスポーツ活動に参加していますか。	93
問 66-1	「2 していない」と答えた人にお聞きします。参加しない理由は何ですか。	93
問 67	あなたにとって、一番ほっとできる居場所はどこですか。(小学1年以外)	94
問 68	あなたの一番仲が良い友達はどのような友達ですか。	95
問 69	あなたは、休日の午後は、どこで過ごすことが一番多いですか。	96
問 70	あなたは、休日の午後は、だれと一緒に過ごすことが一番多いですか。	98
問 71	あなたが休日の午後過ごす場所に、大人はいますか。	99
問 72	あなたは、平日(学校に行く日)に毎日、朝ごはんを食べますか。	100
問 73	あなたは、平日(学校や仕事に行く日)の夕食をだれと食べますか。	101
問 74	あなたは、平日(学校や仕事に行く日)に、1日3食を食べますか。(16歳・17歳のみ)	102
問 74-1	「2 ほぼ毎日2食食べる」または「3 ほぼ毎日1食食べる」と答えた人にお聞きします。平日に3食食べない時の主な理由は何ですか。(16歳・17歳のみ)	103
問 75	あなたは、給食以外で、以下の食べ物をふだんどれくらい食べますか。	103
問 76	あなたは、週にどのくらい風呂に入りますか。(シャワーのみを含む)	105
問 77	あなたは、平日にどのくらい睡眠していますか。(16歳・17歳のみ)	106
問 78	あなたは、次のことについて、親とどのくらい話をしますか。父親と母親それぞれについて教えてください。	106
問 79	あなたは、自分の健康状態についてどう感じていますか。	111
問 80	あなたは、今、虫歯がおおよそ何本くらいありますか。治療中のものも含みます。	112
問 81	あなたの思いや気持ちについて教えてください。	113
問 82	あなたは、学校生活が楽しい(楽しかった)ですか。	117
問 82-1	「あまり楽しくない」、「楽しくない」と答えた人にお聞きします。学校が楽しくない理由は、何ですか。(小学1年保護者、小学5年、中学2年)	118
問 83	学校に行きたくないと思ったことがありますか。(小学5年・中学2年)	119
問 84	あなたは、これまでに、以下のような理由で、学校をやめたくなるほど、悩んだことがありますか。その理由にあてはまるものがありましたら、すべて○をつけてください。(16歳・17歳のみ)	120

問 85 あなたは、これまでに以下のようなことがありましたか。(いじめられた、夜遅くまで子どもだけで過ごした)(小学5年・中学2年)	121
問 86 あなたは、学校の授業がわかりますか。	123
問 86-1 「3 わからないことが多い」、「4 ほとんどわからない」と答えた人にお聞きします。いつごろから、授業がわからなくなりましたか。	124
問 87 あなたは、ふだん(月～金曜日)学校の授業以外にどれくらいの時間、勉強をしますか。1日あたりの勉強時間を教えてください。	125
問 88 勉強がわからない時は、だれに教えてもらいますか(教えてもらいましたか)。(16歳・17歳のみ)	126
問 89 あなたは、将来どの学校まで行きたいと思いますか。	126
問 90 あなたは、自分や家族のことでなやみや心配ごとがありますか。	128
問 91 あなたは、悩みや心配事があるとき、だれに相談しますか。	130
問 92 友達の仲間に入れなかったことがありますか。(小学5年、中学2年)	133
問 93 あなたは、これまで、友達の輪に入れなくて、嫌な思いやつらい思いをしたことがありますか。(16歳・17歳のみ)	133
問 94 あなたは、大人から次のようなことをされて、いやな思いやつらい思いをしたことがありますか。	134
問 94-1 「1叩(たた)かれる、殴(なぐ)られる」、「2心を傷つけられる言葉を言われる」、「3体を触られるなど、性的に嫌なことをされる」を答えた人にお聞きします。嫌な思いをしたときに、だれかに相談しましたか。	134
問 95 あなたは、以下のような場所があれば使ってみたいと思いますか。	135
問 96 あなたの在籍している学校はどれですか。(16歳・17歳のみ)	139
問 96-1 あなたがその学校に進学した理由はどれですか。(16歳・17歳のみ)	139
問 97 あなたの仕事の状況(学生アルバイトを含む)を教えてください。あなたは、収入を伴う仕事(学生のアルバイトを含む)をしていますか。(16歳・17歳のみ)	140
問 97-1 収入を伴う仕事(学生のアルバイトを含む)をしている方にお聞きします。あなたの現在のお仕事の雇用形態を教えてください。複数のお仕事をお持ちの場合は、主な仕事についてお答えください。(16歳・17歳のみ)	140
問 97-2 時給にするとどのくらいになりますか。(16歳・17歳のみ)	141
問 97-3 現在は、1週間あたり、平均何時間働いていますか。残業時間を含めてお答えください。	141
問 97-4 収入を伴う仕事(学生のアルバイトを含む)をしている方全員にお聞きします。給料(アルバイト代)を何に使っていますか。	141
問 98 あなたが、県や市町村に何でも要望できるとすれば、どのようなことを要望しますか。また、日々の生活で感じていること、困っていることなどを自由に書いてください。	142

1. 調査概要及び結果の読み方

長野県では、今後の子ども・子育て支援・次世代育成支援施策の参考とするため、子どもと子育て家庭の生活状況などに関する「子どもと子育て家庭の生活実態調査」を平成 29 年8月に実施した。調査結果の概要は、以下のとおりである。

〔調査概要〕

調査対象	長野県内の 50 市町村(18 市 13 町 19 村)に在住の小学 1 年、小学5年、中学 2 年、16・17 歳県民(高校2年及び高校に在籍していない同年齢の子どもを含む)本人とその保護者 12,000 世帯(※小学生 1 年生は保護者のみ)
抽出方法	住民基本台帳により無作為抽出(対象学年の人口比に基づき抽出数を按分)
調査方法	郵送による配布・回収
調査期間	平成 29 年8月 10 日から8月 31 日まで(9月 25 日到着分まで調査期間を延長)
回答者数	子ども本人 2,371 人(26.3%)、保護者 3,600 人(30.0%)
有効回答数	子ども本人 2,366 人(26.3%)、保護者 3,589 人(29.9%)

〔本調査における「生活困難度」の取扱いについて〕

本調査では、子どもの世帯の「生活困難度」について、以下の①②③の3つの要素の回答状況に基づいて分類した。

①低所得	世帯の可処分所得(収入による可処分所得＋児童手当等の支給額等)、世帯人数と組み合わせた分類表で、分類Ⅰ又はⅡに該当する場合(次頁の表を参照) ただし、低所得世帯の割合は、世帯所得の把握の方法等の違いがあるため、厚生労働省発表の子どもの貧困率と比較できるものではない。
②家計の逼迫	7項目(電話・電気・ガス・水道の公共料金、家賃、食料・衣類の購入)について、経済的な理由で払えなかった、または買えなかったことが1つ以上ある場合
③子どもの体験や所有物の欠如	子どもの体験や所有物など 15 項目のうち、経済的な理由でしていない、金銭的な理由でないなど欠如する項目が3つ以上ある場合(次頁の表を参照)

①②③の3つの要素の回答状況から区分し、以下のように分類している。

①②③で2つ以上の要素に該当＝**困窮家庭** 1つの要素に該当＝**周辺家庭**
該当なし＝**一般家庭** (無回答等により分類できないものは除く。)

また、困窮家庭と周辺家庭を併せて「生活困難家庭」としている。

生活困難家庭		困窮家庭＋周辺家庭
	困窮家庭	2つ以上の要素に該当
	周辺家庭	いずれか1つの要素に該当
一般家庭		いずれの要素にも該当しない

「①所得」の要素の補足説明

所得に関する回答から分類する際には、以下を参考とした。国民生活基礎調査(厚生労働省) 貧困線所得額(万円単位で把握)、課税等の額(千円単位で把握)ならびに世帯人員数の情報から、「等価可処分所得」を算出し、等価可処分所得の中央値の半分の額を貧困線として定めている。(貧困線は、世帯の可処分所得額としては、2人世帯の場合は173万円に相当)

アンケート調査票で世帯の可処分所得額について世帯員人数別に、分類Ⅰ・Ⅱまでを回答した世帯を低所得世帯とした。

[調査票での世帯員人数別可処分所得の水準]

世帯員 人数	可処分所得の水準						(参考) 国の貧困線 の基準
	分類Ⅰ	分類Ⅱ	分類Ⅲ	分類Ⅳ	分類Ⅴ	分類Ⅵ	
1人	60万円未満	120万円未満	180万円未満	240万円未満	300万円未満	300万円以上	122万円
2人	85万円未満	175万円未満	260万円未満	345万円未満	430万円未満	430万円以上	173万円
3人	105万円未満	210万円未満	315万円未満	420万円未満	525万円未満	525万円以上	211万円
4人	120万円未満	245万円未満	365万円未満	485万円未満	605万円未満	605万円以上	244万円
5人	135万円未満	275万円未満	410万円未満	545万円未満	680万円未満	680万円以上	273万円
6人	150万円未満	300万円未満	450万円未満	600万円未満	750万円未満	750万円以上	299万円
7人	160万円未満	325万円未満	485万円未満	645万円未満	805万円未満	805万円以上	323万円

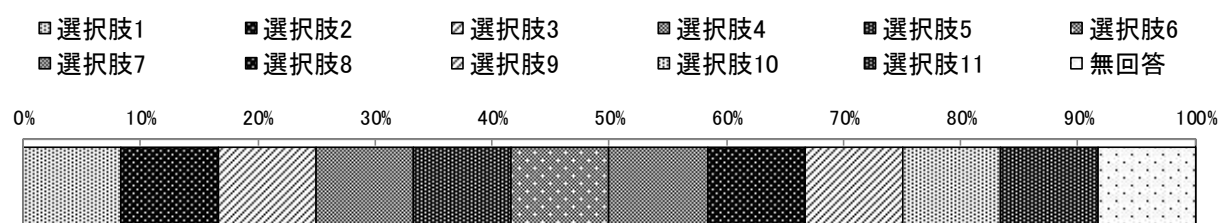
「③子どもの体験や所有物」の要素の15項目

①海水浴に行く	⑨学習塾に通わせたり、通信教育を受ける(または家庭教師に来てもらう)
②博物館・科学館・美術館などに行く	⑩お誕生日のお祝いをする
③キャンプやバーベキューに行く	⑪1年に1回くらい家族旅行に行く
④スポーツ観戦や劇場に行く	⑫クリスマスのプレゼントや正月のお年玉をあげる
⑤遊園地やテーマパークに行く ※16・17歳は「友人と遊びに出かけるお金」	⑬子どもの年齢に合った本
⑥毎月お小遣いを渡す	⑭子ども用のスポーツ用品・おもちゃ
⑦毎年新しい洋服・靴を買う	⑮子どもが自宅で宿題をすることができる場所
⑧習い事(音楽、スポーツ、習字等)に通わせる	

[報告書の読み方]

報告書の設問番号は、報告書用の順番で振りなおしているため、実施した調査票の問番号と一致しない。

各グラフは、単一回答を帯グラフで、複数回答を棒グラフで示しており、選択肢の凡例は以下を基本としている。



グラフ内の2%に満たない数値は省略しているところがある。帯グラフは少数点1位で表示しており、一部 100%とならないところがある。棒グラフは複数回答のため、合計が 100%を超えるものがある。

生活困難度別のグラフでは、生活困難度の判定ができなかった家庭の回答は、グラフの「全体」の数に含まれている。このため、一般家庭、周辺家庭、困窮家庭の合計と全体の数は一致しない。

また、調査項目により、回答者が限定される場合、保護者の回答数と子どもの回答数は異なる場合があるため、結果グラフの総数(N)が異なる場合がある。子ども本人の有効回答数は 2,366 人で、それを母数に子ども本人の回答結果を示しているが、生活困難度別の集計による子どもの回答については、保護者の回答と突合して集計するため、子どものみ回答した調査票数を除いており、総数が 2,347 人となる。このように母数が異なるため、全体のパーセントにずれが生じる場合がある。

2. 回答者の属性

(1) 属性・居住地域

保護者の回答では、小学1年が多く、学年が上がると回答数が減っている。子ども本人の回答では、小学5年と中学2年は35%前後で、16歳・17歳がやや少ない。

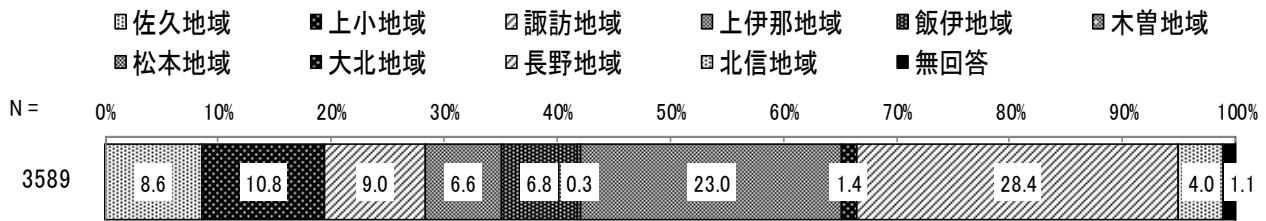
[学年別子ども、保護者の分布]

	保護者票	子ども本人票
全 体	3,589 件(100.0%)	2,366 件(100.0%)
小学1年	1,172 件 (32.7%)	—
小学5年	928 件 (25.8%)	910 件 (38.4%)
中学2年	821 件 (22.9%)	808 件 (34.2%)
16歳・17歳	668 件 (18.6%)	648 件 (27.4%)
世帯	3,589 件	2,347 件

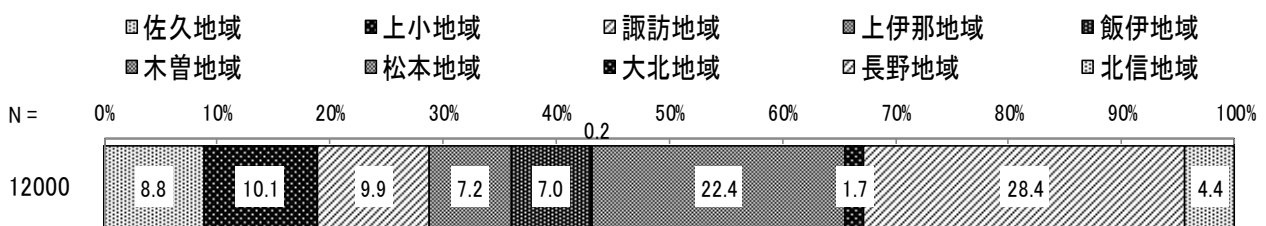
問 1 居住地域はどこですか。

10圏域では、「長野地域」が28.4%と多く、「松本地域」が23.0%、「上小地域」が10.8%で続いており、対象学年の人口比に概ね近い構成となっている。

問1 居住地(圏域)〔%〕



[参考：対象学年人口比（平成29年4月1日現在）]

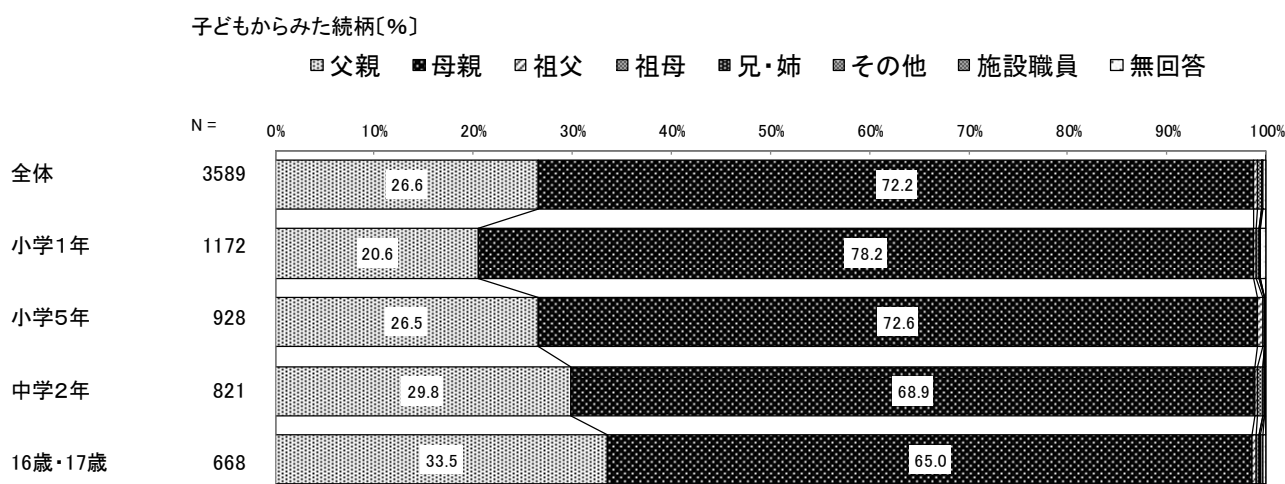


(2) 世帯の状況

問 2 お子さんとあなた(回答者)との関係は、以下のどれになりますか。お子さんからみた続柄で、お答えください。

子どもからみた続柄は、全体では母親が 72.2%と多く、父親が 26.6%となっている。

学年別では、小学1年は母親が 78.2%と多く、16 歳・17 歳は 65.0%とやや少ない。



問 3 あなたの年齢を教えてください。

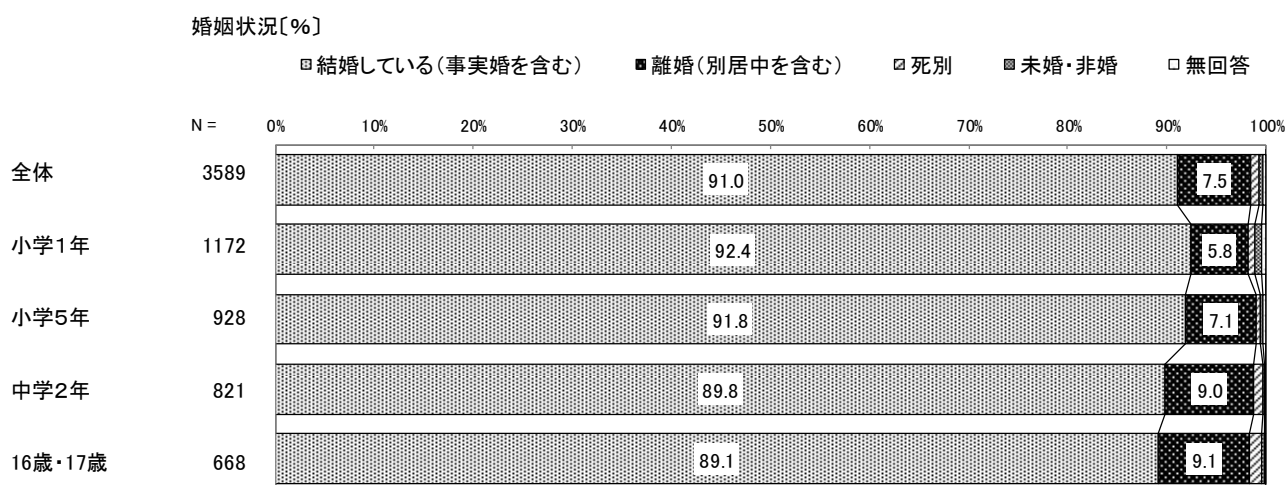
年齢は、全体では平均 43.4 歳となっており、祖父母等が回答している場合などを含め、20 歳代から 80 歳代まで回答されている。

学年別では、小学1年は平均が 39.2 歳で、小学校5年以上は 40 歳代となり、学年が上がると回答者の年齢も高くなっている。

問 4 現在のあなたの婚姻状況を教えてください。

いずれの学年の保護者も9割程度が「結婚している(事実婚を含む)」と回答している。

[婚姻状況]

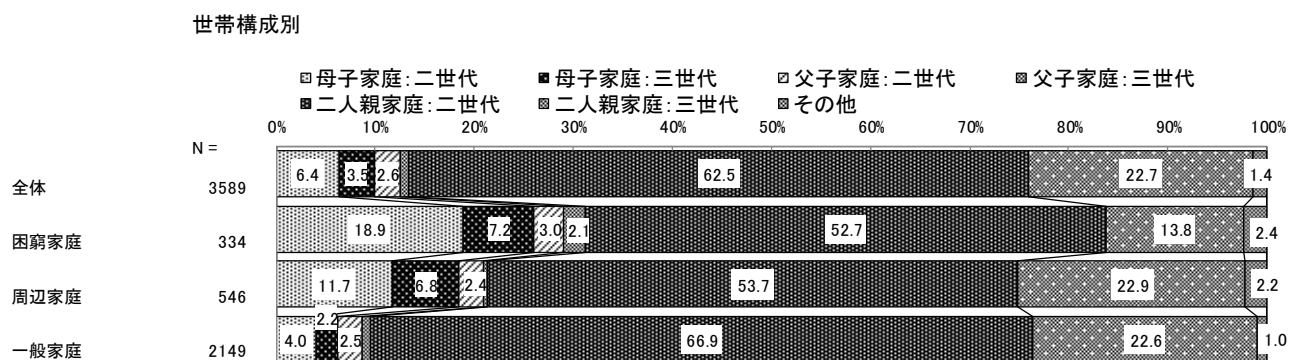


問 5 お子さんと同居しているご家族の人数を教えてください(あなたとお子さんも含む)。単身赴任しているご家族も含めてください。

家族の人数は、全体では平均 4.7 人となっている。

世帯構成では、「二人親二世帯」が 62.5%と多く、「二人親三世帯」が 22.7%である。母子または父子のひとり親の世帯は二世帯・三世帯世帯をあわせて 13.4%である。

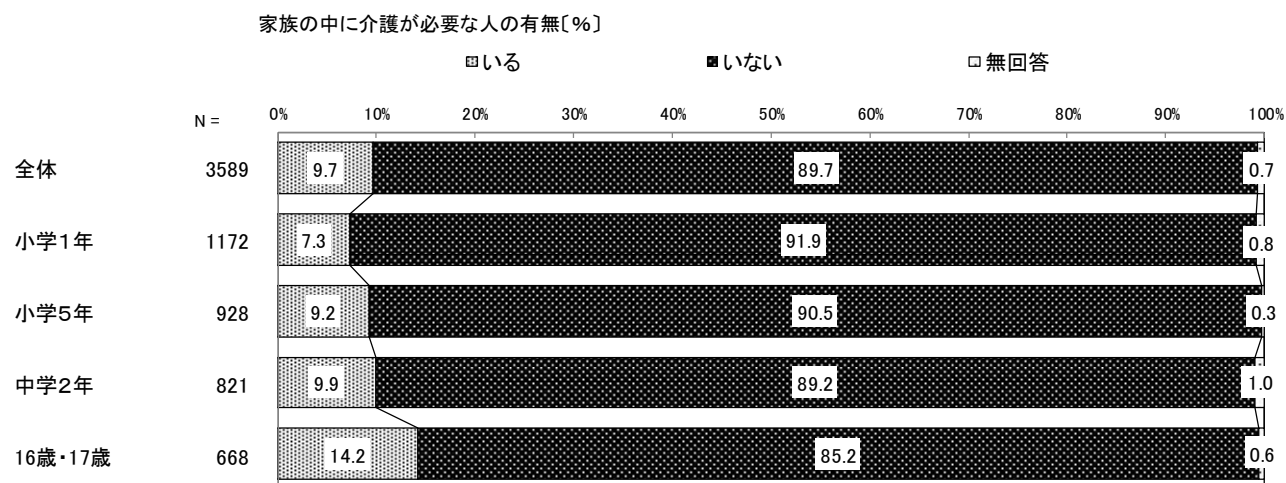
生活困難度別では、困窮家庭で「母子家庭：二世帯」が 18.9%と特に多い。



問 6 お子さんと同居しているご家族の中に、高齢であったり障がいがあったりするなど、介護が必要な方はいますか。

全体では、「いる」が 9.7%と少なく、「いない」が 89.7%となっている。

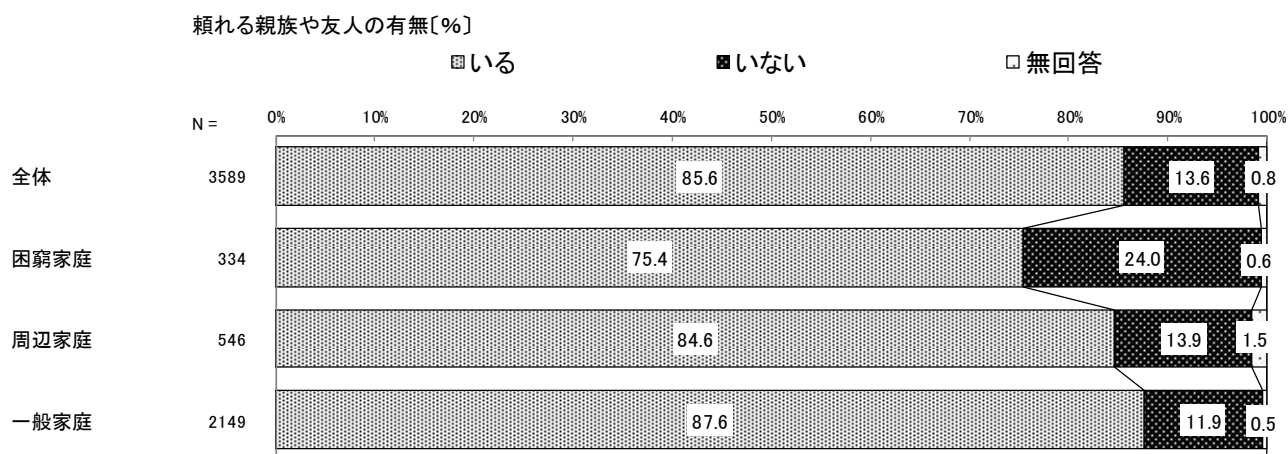
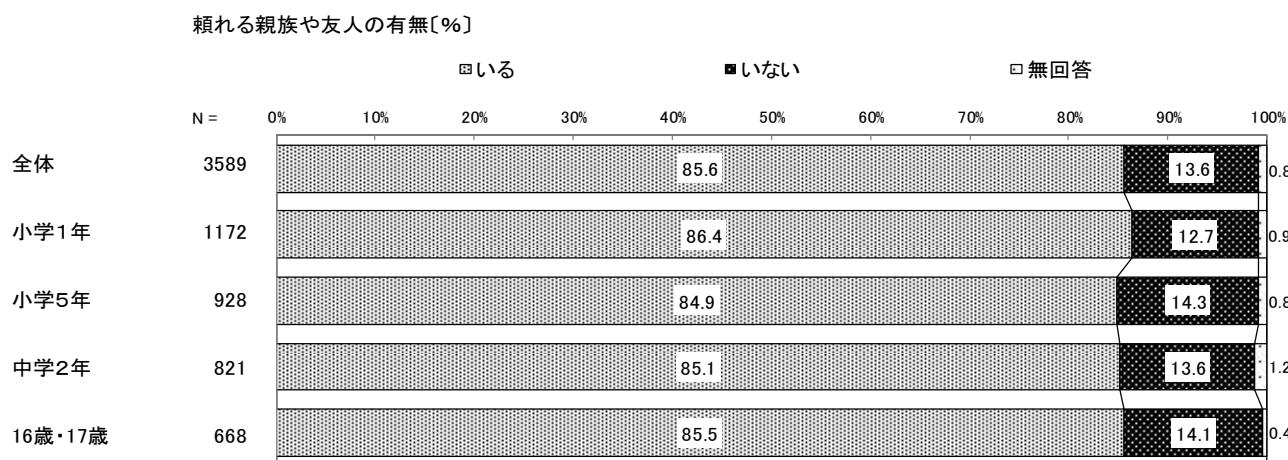
学年別では、16 歳・17 歳の保護者で「いる」が 14.2%と多い。



問 7 お子さんが病気の時や、ご自身の用事の時などに頼れる親族や友人などがいますか。

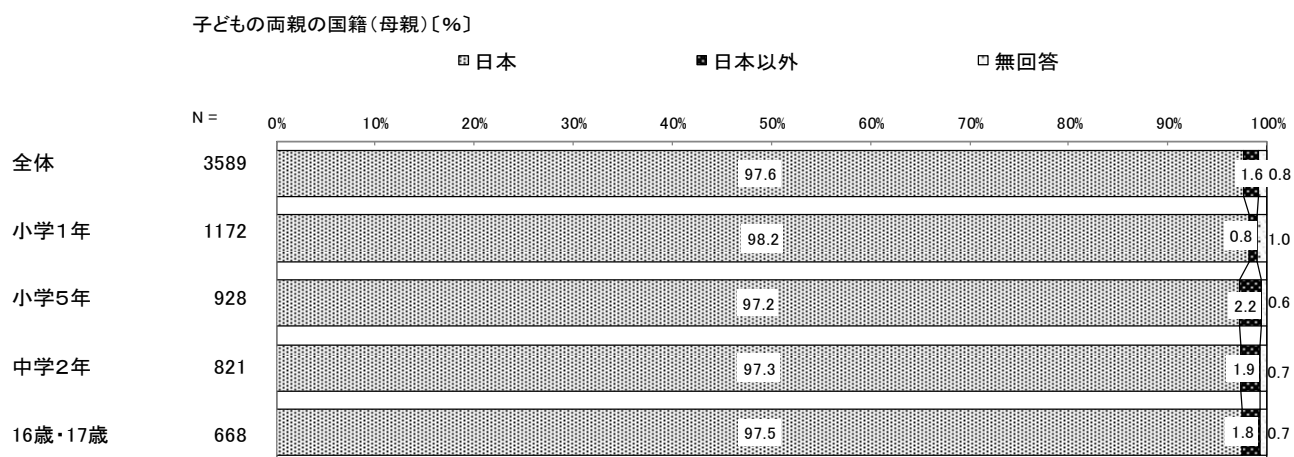
学年別では、いずれの学年の保護者も 85%前後が「いる」と回答している。

生活困難度別では、「いない」が困窮家庭で 24.0%と全体と比べて多い。

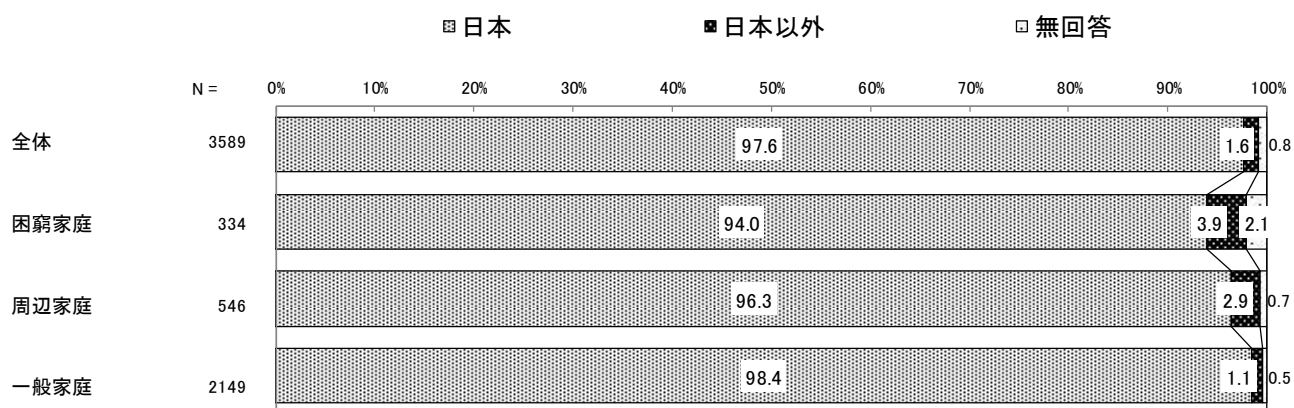


問 8 お子さんのご両親の国籍を、それぞれ教えてください。

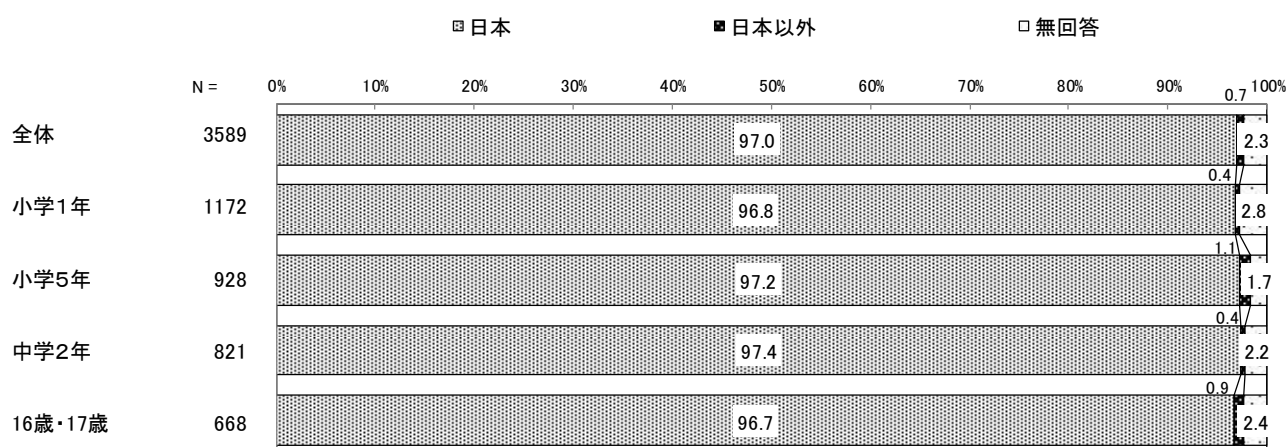
学年別では、母親・父親の国籍はそれぞれ、いずれの学年も 97%程度「日本」と回答している。



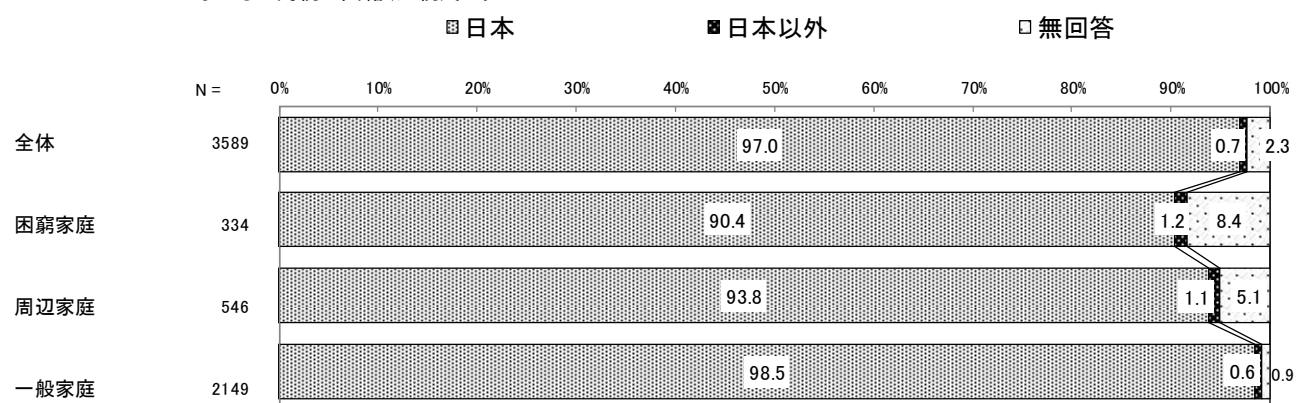
子どもの両親の国籍(母親)〔%〕



子どもの両親の国籍(父親)〔%〕



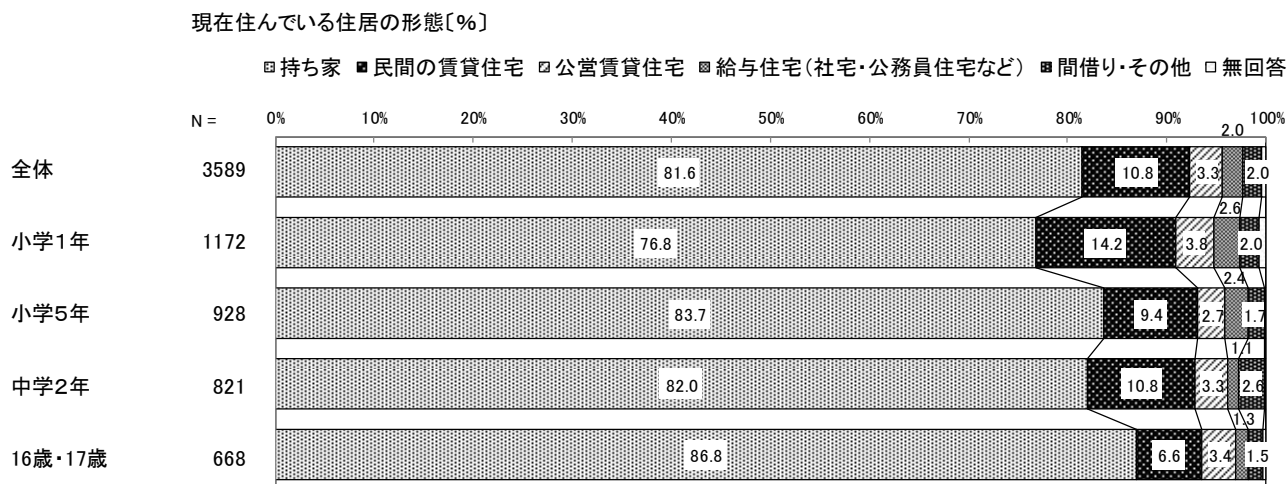
子どもの両親の国籍(父親)〔%〕



問 9 現在お住まいの住居の形態は、次のどれが最もよくあてはまりますか。

現在の住居形態は、全体では「持ち家」が 81.6%と多い。

学年別では、小学1年の保護者で「持ち家」は 76.8%とやや少なく、「民間の賃貸住宅」が 14.2%とやや多い。



問 10 前年(2016年1～12月)の世帯全体の可処分所得(手取り)総額は、合計でおおよそいくらですか。

就労による所得(会社員の方等は住民税を引く)に加え、児童手当・児童扶養手当等・雇用保険等の支給額や、親族等からの仕送りを足した金額でお答えください。

世帯年収は、全体では「400～550万円未満」が 20.0%、「550～700万円未満」が 16.8%、「700万円以上」が 15.0%で、400万円未満は 29.5%となっている。

生活困難度別では、一般家庭と生活困難家庭を比べると 400万円以上で割合の差が開いている。

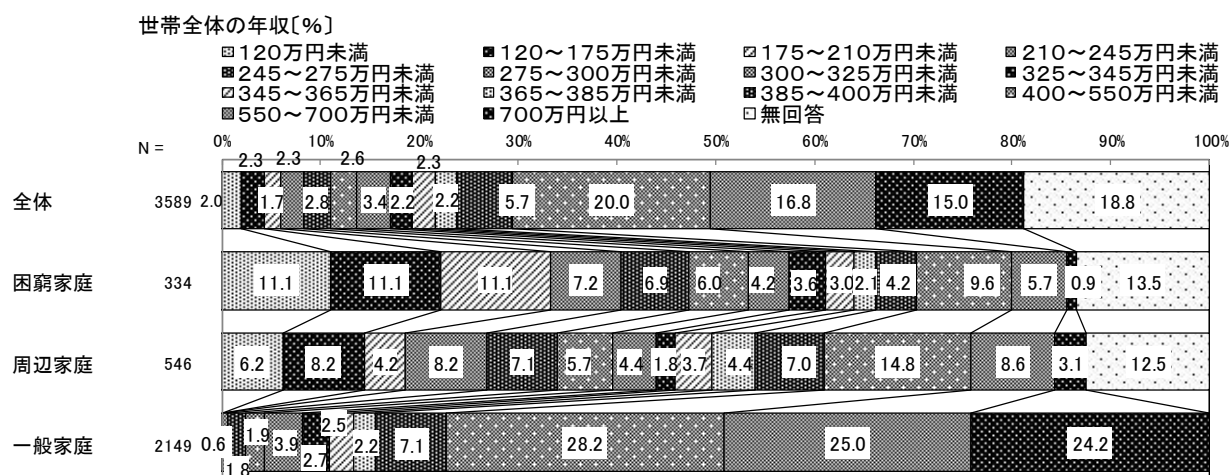
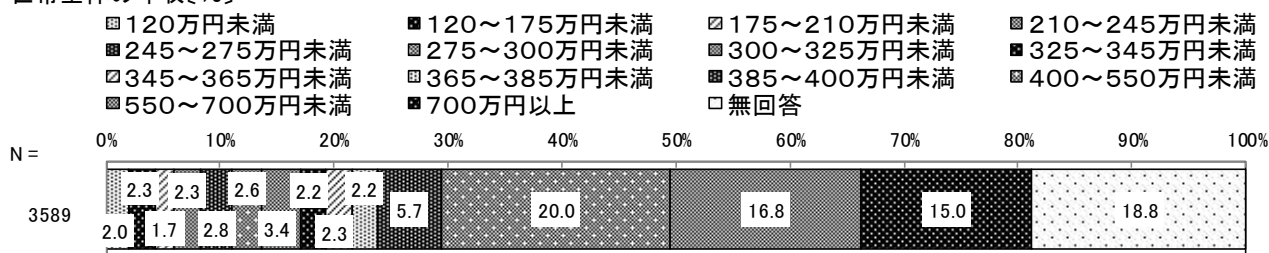
生活困難度(判定方法については1ページ参照)は、「一般家庭」が 59.9%を占めており、「周辺家庭」が 15.2%、「困窮家庭」が 9.3%である。学年別の全体では、中学2年と16歳・17歳で「困窮家庭」が 10%を上回っている。

世帯別の現在の暮らしの状況は、全体では「普通」と感じるが 47.9%と多く、「やや苦しい」と感じるが 28.1%で続いている。世帯別では、二人親家庭は二世帯・三世帯ともに、「やや苦しい」「大変苦しい」の合計が 30%台であるのに対し、ひとり親家庭はいずれも 40%を超えている。特に母子家庭(二世帯・三世帯)と父子家庭(三世帯)は、半数以上が「やや苦しい」「大変苦しい」と感じている。

生活困難度別では、「やや苦しい」は一般家庭の 22.3%に対し、生活困難家庭で 40%を超えている。困窮家庭では「大変苦しい」が 52.1%と特に多い。

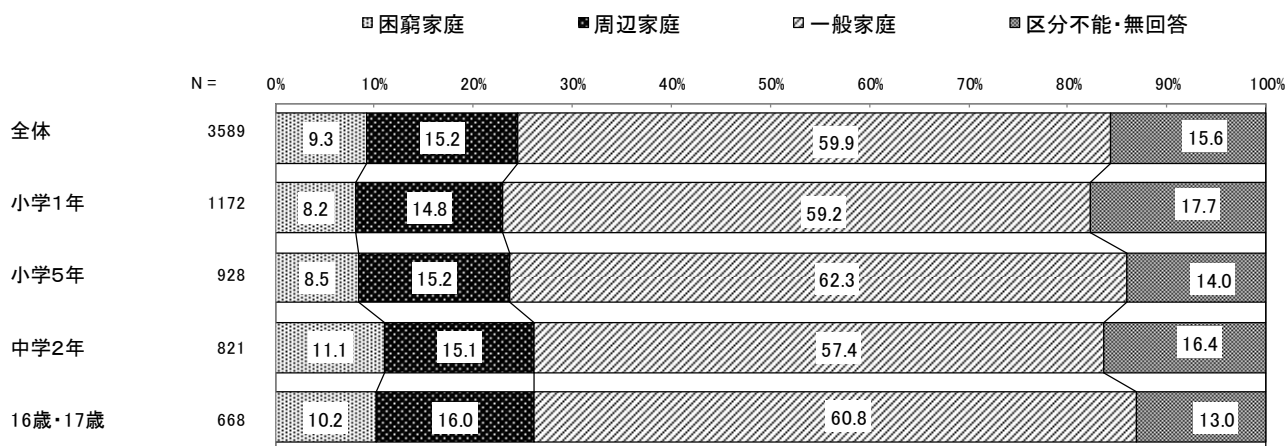
[世帯年収]

世帯全体の年収[%]



[生活困難度]

生活困難状況[%]



[世帯別の現在の暮らしの状況]

